

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：4 年

留学先大学：Inje University (仁済大学校)

現在の学期：Spring Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	9:00-10:50 Academic Korean1: Listening and Speaking 13:00-13:50 Communication with Global Culture (1) 15:00-16:50 Applied Business Korean (1)
水	9:00-9:50 Academic Korean1: Listening and Speaking 15:00-16:50 Korean History through Travel (1)
木	9:00-10:50 Understanding Korean Culture (1) 11:00-12:50 Understanding of Japanese Linguistics 13:00-14:50 Communication with Global Culture (1)
金	10:00-10:50 Understanding of Japanese Linguistics
土・日	

履修科目や近況について

【授業について】

- ・ Academic Korean 1 : Listening and Speaking は、留学生に向けた韓国語の授業です。初級の授業はないため、1 は中級レベルになります。週 3 時間あるため、学習スピードは早く、予習復習を行うと時間がかかります。
- ・ Applied Business Korean (1) も、留学生向けの講義ですが、ビジネスの場で必要な用語や韓国の企業文化を学ぶことが出来ます。
- ・ Korean History through Travel (1) では、朝鮮での三国時代の歴史を中心に学びます。グループで国内の歴史的遺跡を訪れ、プレゼンテーションを行います。
- ・ Understanding Korean Culture (1) では、韓国の衣食住の文化を細かく学びます。用語や自国文化との差をまとめる課題が出ます。
- ・ Communication with Global Culture (1) は、韓国人の学生と共に受ける講義のためスピ

ードに着いていくのが少し大変ですが、毎回グループでのディスカッションの時間があるため、学生同士の意見交換の中でコミュニケーション能力を高めることが出来ます。

・ Understanding of Japanese Linguistics では、日本語学科の学生と共に日本語学について学びます。韓国の学生が日本語を学ぶ際に難しいポイントや、知らなかった日本語の仕組みを学ぶことができます。

※前期の留学生用の授業は 11 個ありましたが、人気があって登録できなかったものや、逆に履修人数の不足で開講されなかったものもありました。

【仁済大学校について】

・ 空港から電車とバスで 1 時間ほどの場所にあります。釜山中心地からは離れていますが、大学周辺は飲食店やカフェが充実しています。また、バスが多く通っているので、駅まで行くのも不便ではありません。山がある場所のため、大学前の道からキャンパス内まで坂が本当に多いです！（大学敷地内に猫がたくさんいてとっても可愛いです。）

・ 私の住んでいる寮は、二人1部屋で、机、イス、ベッド、小さめのクローゼット、トイレ&シャワー室があります。（冷蔵庫がないので、常温保存できるもののみです！）3 階にある洗濯室では 1 回 1500 ウォンで、洗濯、乾燥機がそれぞれあります。数に制限があるため、空いていないこともあります。1 階入り口横には CU（コンビニ）があるためとっても便利です。ルームメイトは寮に行く日まで分かりませんでした。私は同じ日本人で前学期から留学に来ている子でした。（今学期は日本人学生が2人しかいません！）

・ 大学中心にある **늘빛관**にある学食は、平日 11 時から 18 時半まで利用できます。券売機で券を買って、そのメニューをもらいに行くスタイルで、A/B セットは 4800 ウォンでおなか一杯食べることが出来るのでとても良いです。毎日メニューが変わるので、食べたいメニューの日は友達と食べに行っています。

・ 大学の図書館はとても大きく、カフェがあるためドリンクを買って勉強することが出来ます。地下一階の自習室は 24 時間開いているので、テスト期間は多くの学生が夜遅くまで（人によっては徹夜で）勉強しています。

【生活について】

・ 金海市という場所は言ってしまうと田舎ですが、山と川があって自然が多く、交通や飲食店はしっかりそろっているのでとても住みやすいです！大学前にダイソーやオリヤン（ドラッグストア）もあるので、生活に必要なものはほぼ揃えることが出来ます。ソウルで暮らすよりも確実に安く快適に暮らせると感じます。

・ 休日や空きコマの時間には、授業内で仲良くなった韓国人学生、留学生の友達と一緒にご飯に行ったり、ショッピングに出かけたりしています。バスや電車を使って 1 時間

半ほどで西面や南浦にも行けるので、服を買いに行くことが多いです。もちろん大学の前にも、行ききれないほど飲食店が多いので開拓していくのがとても楽しいです！

・注意してほしいことが、外国人登録証を申請してから届くまでの約1 か月は不便なことがとても多いです！携帯 SIM の契約も出来ませんし、ネット上の認証がすべて通らないのでネットショッピングも不可能です。大学内にある**신한은행**では、一応パスポートのみでも口座の開設が出来ます。ただ、外国人登録証が来てからのほうがスムーズです。そのため、しばらく生活できるくらいの現金の用意を多めにすることをお勧めします！（日本のクレカもちろん使えますが、店によっては海外のカードは使えないと言われることもあります。）

・携帯の SIM 契約については、外国人登録証が出来たら韓国の**알뜰폰**（格安 SIM）を契約することをお勧めします！私は、西面駅にある「**알뜰폰천국**」で契約し、kt のデータ 15GB・電話 SMS 無制限プランで月 20900 ウォンというお得な内容を選びました。事前に問い合わせをしたら外国人の手続きも大丈夫だと言ってくれて、1 時間かからずに契約が完了しました！さらに、本来は必要である加入費や SIM 本体の購入費も無料にしていただけ、その場で払う費用は一切なしでした。（とても良くしてくださいました…。）携帯番号の最後 4 桁を好きな数字にできて、その場で聞かれるので考えておくといいと思います！

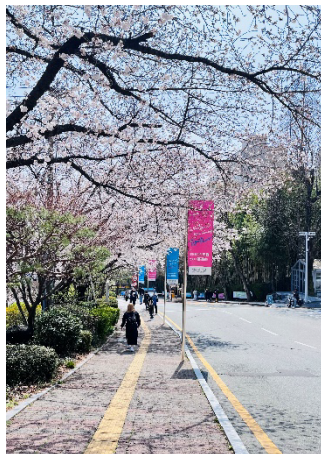
【日本から持ってくるべきだと思うもの】

- ・現金（日本円でもってきてレートがいいときにこちらで換金でも大丈夫。）
- ・日本の即席味噌汁・スープ（いらなと思っていましたが絶対あるといいです！）
- ・机上ランプ（寮の机が暗いので持ってくるといい。現地でも買えるが高い。）
- ・ブランケットや布団カバー（配布されるのは素の枕と薄い掛布団 2 枚のみ。）
- ・カトラリー、お椀（1 つでいいのであると便利。ホテルでもないと困ることがある。）

【最後に】

・仁済大の教授の方々や、国際交流課（留学生課）の担当の方はとても親切で、困ったことは相談すれば丁寧に対応してくださいます。ただ、私が韓国に来て思うことが、「自分から聞きにいかないと知らなかったことが多い」ということです。当たり前のことでもあるのですが、留学生だからと言って 1 から 10 まで全て教えてもらえるわけではありません。些細なことでも聞いてみることで、情報を教えてもらえたり、融通をきかせてもらえたりすることもあります。損をしないためにも、分からないことは遠慮せずに聞くことをお勧めします！

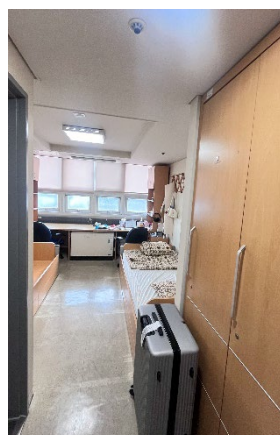
【仁濟大学内】



【学食】



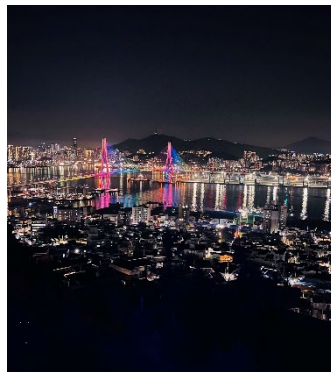
【寮】



【大学周辺】



【釜山周辺】



【お世話になった西面の SIM 契約店】

(どんどん紹介してねと言われたので、釜山に留学に来る際にはお勧めします！)

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：4 年

留学先大学：Inje University (仁済大学校)

現在の学期：Fall Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	13:00-14:50 Academic Korean1: Reading and Writing
火	13:00-14:50 Korean Movie and Society 15:00-16:50 K-Dramas and Korean Language
水	13:00-14:50 TOPIK: High Level
木	9:00-10:50 Learning Korean through Would Picture Books
金	
土・日	

履修科目や近況について

【授業について】

・ Academic Korean 1 : Reading and Writing は、前期の Listening and Speaking とセットの韓国語の授業です。前期で開講されなかったのですが、後期には無事に履修できました。使っている教科書の内容が少し難しく、専門用語のような単語も出てくるため、予習復習をしっかりと行っています。

・ Korean Movie and Society では、韓国の映画の内容から歴史や社会情勢について学びます。最初に取り上げたのは、朝鮮戦争の映画で、その背景や当時の状況を考える内容でした。日本の歴史の授業では学べない、韓国視点の学びがとても面白いです。

・ K-Dramas and Korean Language は、韓国ドラマを研究している方の本を教科書に、ドラマに出てくるシーンの韓国語や文化背景を学びます。ドラマのセリフは口語のため、教科書に出てこない単語や言い回しを知ることが出来ます。

・ TOPIK: High Level は、TOPIK の問題集を使って進める授業です。試験に出てくる形式の問題を効率よく解く方法を学びながらも、日常生活でよく使われる表現や場面設定が多いため、とても勉強になる授業です。

・ Learning Korean through Would Picture Books では、絵本を通して韓国語を学ぶ授業です。絵本の中には、擬態語・擬音語が多いため、初めて知る韓国語も多いです。

※後期でも、予定されていた授業が開講されないという事態がありました。教授の先生の都合や履修人数の関係など、理由は様々ですが、よくあることだと思っているほうがいいと思います。

※日本語学習について学ぶ授業を受講しようとしたのですが、後期は授業参加ではなく、「日本語交流会」という釜山の街中で開催しているコミュニティに参加することにしました。交友がさらに広がることで、卒業論文のための研究の協力者を増やすことが出来そうです。

【仁済大学校について】

・ 仁済大学は、8月の終わりに韓国内のグローバル（Global+Local）大学 30 に選ばれ、なんと5年間で1000億ウォンもの資金を受けられることが決定しました！実は去年は最終選考で落選していて、今年にリベンジを果たしたということで、後期初めに大学内が盛り上がっていました！その記念として、1日1200人限定で学食無料というイベントが開催され、私も40分並んで無料の食事を楽しみました。後期には、前期よりもさらに留学生が増え、大学内のグローバル化をより実感しています。

・ その他にも、大学内では様々なイベントが定期的に行われます。最近では、学生の就職支援イベントの中で、無料のパーソナルカラー診断を行っていたり、心理的なストレス診断テストに回答することでコーヒー無料券が貰えたりしました。留学生でも問題なく参加できるため、友達と一緒に楽しんでいます。

・ 大学内には、韓国の新韓銀行（신한은행）の窓口があります。留学生でも韓国内の口座を作ることができ、口座開設することで大学寮費の振り込みや、普段の友人同士の送金などが出来るようになります。韓国の銀行はとにかく早くて、書類にひたすらサインをして、口座の開設は30分、カードを紛失して再発行は10分で終了しました！

・ 韓国の大学内には、とにかくカフェが多いです！仁済大学の中には、なんとダンキンドーナツまであります！朝9時から営業していて、シンプルなハニードーナツとアメリカノのセットが3900ウォンでお得なので、たまに朝活で利用しています。大学前の急坂をわざわざ降りて街に出なくても、大学内で朝からカフェに入れるのはとても便利です。

【生活について】

・ 後期になり、言語にも生活にもだいぶ慣れてきました。前期を経て、韓国生活には適

応していたので、後期には少し心の余裕をもって、積極的に友達を増やすことが出来ています！国際語文学科の学生たちが、開講式という名目でご飯会を開催してくれたため、韓国人・留学生問わず交友が広がりました。留学生の友達も、中国・インドネシア・ミャンマー・ベトナム・キルギスなど様々な国から来ていて、韓国語を通して話すことがとても不思議で楽しいです。学習面でも、授業内で発言したり、気になることは授業後でも教授に質問しに行ったりと、積極的に参加するように心がけています。

・釜山への留学で心配だったことが「方言」でしたが、それもだいぶ慣れてきました。留学初日で寮のおじさんが案内してくれた際に、方言（抑揚や語尾など）が独特すぎてほぼ聞き取れず、その時はとても不安になりました…。しかし、方言が強いのは特に年齢層が上の人たちで、同年代の学生たちとは問題なく会話できます。普段、授業を担当する教授の先生たちや、飲食店の店員さんは、多少方言はあっても基本的にはコミュニケーションに問題はありませんでした。（たまにタクシーの運転手さんが方言強すぎることはありますが、言っていることが分からないときはしっかりと聞けば、わかりやすく言い直してくれます！）耳が慣れてきた今、自分にも釜山の方言が移りそうです…。

・釜山にある別の大学「釜慶大学」に正規留学している日本人の子と知り合い、話を聞いたところ、「釜慶大学」には正規・交換問わず日本人留学生がとても多いとのことでした。私は仁済大学に日本人留学生がほぼいないため（後期は私含め6人）、釜山にいる日本人留学生は少ないと思っていたので驚きました。日本人がほぼいないという環境を不安に思う人もいるかと思いますが、私は仁済大学でもたくさん友達が出来て楽しく過ごしていますし、釜山の他の大学には日本人留学生が多いとのことなので、あまり心配する必要はないと思います！

【※韓国生活で注意すべきこと※】

私は韓国生活に慣れたと上記しましたが、その中で最も注意すべきなのは「**宗教勧誘**」です。韓国では本当に多いです！！私も今までに何度も声をかけられました。注意喚起も含めて、説明しておこうと思います。

基本的に、韓国では道で向こうから声をかけてきます。おばさんたちのこともあれば、学生っぽい若い女性の場合もあります。また、明らかなパンフレット等を持っているわけではなく、「今度開催されるイベントのアンケートに協力してほしい」「大学の課題で、協力のために声をかけている」「自分が趣味で書いているイラストの感想を聞きたい」など、一見危険ではなさそうな口実で話しかけてきます。（最近では、韓国でも日本のアニメやJ-popが人気なので、日本人だと言うとさらに喜んで友好的に話してきます…。）

基本は無視して、そのまま通り過ぎるようにしましょう。私は一度、立ち止まって話を聞いてしまったことがあるのですが、その後カフェに移動して楽しく雑談しながら、だんだん“人間の前世”について熱く語られ、カフェの閉店時間までひたすらおしゃべりし

ました。最後に、カトク（日本でいう LINE）を聞かただけでなく名前・電話番号・現在の住所まで紙に書いてほしいと言われて、明らかに怪しいと思い、適当な嘘の情報を書いてお別れし、すぐに連絡先を消去しました…。

少し調べると分かりますが、韓国では日本人の宗教勧誘被害が多いです！話しかけられて、いつの間にか教会に一緒に行くことになったり、謎の儀式を一緒にしようと言われたり、酷いケースだとビルの一室に連れていかれて強制的に入信を迫られたりします。

知っているだけで、すぐ「何か怪しい」と疑うことが出来ると思うので、韓国に留学（ただの旅行でも！）する際はくれぐれも気をつけてください！

【最後に】

韓国という国は日本と隣り合った国ですが、文化の違いは多くあります。さらに反日という人たちが一定数いることは事実です。大学の講義中には、避けては通れない日韓の歴史の話が度々出てきますが、韓国の視点からみた考え方を知ることが出来るのは大きな学びです。幸い、私は講義中や日常生活で嫌な思いは一度もしていません。むしろ友好的に受け入れてくれる友達ばかりで、環境に恵まれているなと感じています。

韓国に来て7か月以上が経ち、韓国生活にも慣れ、韓国語が流暢になったと褒めていただける機会が増えたことでだいぶ自信がついてきました。友達たちにも「帰らないでほしい」と言われ、留学生活の終わりが近づいていることが悲しいですが、残りの時間も後悔のないように過ごそうと思います。

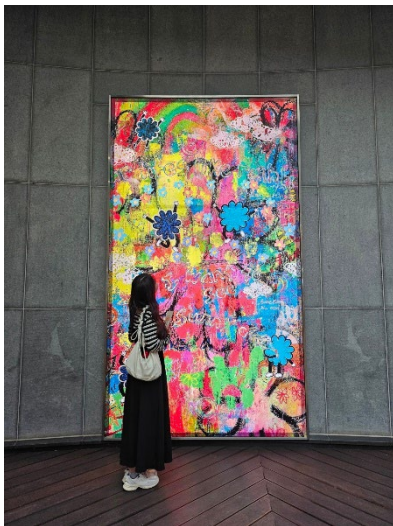
【大学周りで友人たちと食べたご飯】



【テスト期間に配られるお菓子】 【キャンパス内の猫】 【イベントでの無料学食】



【大学祭のステージ】 【金海市の美術館】 【釜山国際映画祭】



【旅行で行った済州島】 【プロ野球観戦】 【晋州（チンジュ）城】

